

オーガニック「きらみずき」栽培こよみ

「オーガニック近江米」の手引き」とあわせてご利用ください

令和7年1月 滋賀県農業技術振興センター

<施肥>

- ・下表の基準量を目安に施用
(別途移植直後の米ぬか散布を前提としている)
- ・米ぬかを散布しない場合、または6月下旬頃に
葉色が淡くなり始めたら葉色3.8以下になるまでに
()内の量を目安に追肥
- ・穂期は幼穂形成期(幼穂長1mm)の1週間前(7月中旬)
および、1回目の2週間後を目安に2回施用

施肥法	地帯区分	基肥	追肥	穂肥Ⅰ	穂肥Ⅱ	合計
全層	湖辺粘質、高地力田	3kg	(1kg)	3kg	3kg	9(10)kg
	湖辺砂質、平坦、中山間	4kg	(1kg)	3kg	3kg	10(11)kg
側条	湖辺粘質、高地力田	2kg	(1~2kg)	3kg	3kg	8(9~10)kg
	湖辺砂質、平坦、中山間	3kg	(1~2kg)	3kg	3kg	9(10~11)kg
大豆跡		0~2kg	(1~2kg)	3kg	3kg	6~10kg

<育苗・移植>

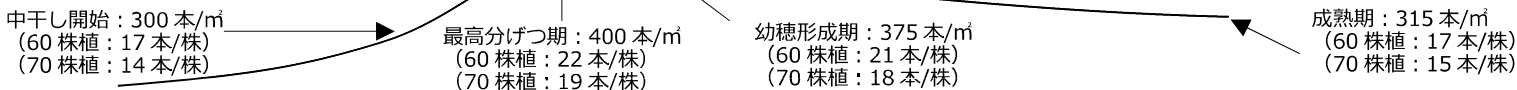
- ・温湯消毒は60~62℃で10分間
- ・温湯消毒後の種子は直ちに浸種するか、十分に風乾して低温低湿度で保管する
- ・播種量は乾籾80~100g/箱
- ・30~40日育苗とし、充実の良い中苗~成苗を育成
- ・播種後14日目と21日目ごろに追肥を行う(窒素成分1g/箱)
- ・5月20日から30日を中心に移植
- ・栽植密度は下表の基準を参考とする

湖辺、平坦	中山間
60株/坪	60~70株/坪

<水管理>

- ・代かき前にあぜ塗りや畦畔補修で漏水対策
- ・深水管理の実施
(移植直後5cm、生育に合わせ10~15cm)
- ・茎数300本/㎡を目安に溝切り・中干しを実施
- ・出穂前後各3週間は常時湛水管理
- ・品質低下防止のため刈取予定日の5日前までは間断かんがいを実施

<茎数の推移>



※10a当たり窒素成分量
※肥料は「有機アグレット」を想定
施用する肥料により肥効が異なるので、
追肥で生育を調整する

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月～				
生育期区分		育苗期	移植期	活着期	有効分げつ期	無効分げつ期	幼穂形成期	穂ばらみ期	出穂期	登熟期	成熟期
水管理	浅水代かき・自然減水	やや深水	深水管理	中干し	間断かんがい	★常時湛水管理（出穂前後各3週間）			間断かんがい		
栽培管理のポイント（★は注意事項）	★病害虫の常発地域を避けて栽培 栽培に適したほ場の選定	★基肥は基準量を目安に施用 ★複回数代かきにより雑草の発生密度を低下 【代かき・施肥】 ・丁寧な代かきにより漏水を防止 ・あぜ塗りや畦畔補修を実施 【漏水防止対策】 ・30～40日育苗とし、充実の良い中苗～成苗を育成 ・温度管理の徹底で徒長と葉焼けを防止 ・うす播き、均播を励行し乾籾80～100g/箱 ・温湯消毒後はすぐ浸種するか、風乾後低温低湿度で保管 ・温湯消毒は60～62℃で10分間実施 【健苗の育成】	★基準の栽培密度で移植 ★5月20日から30日を中心に移植 ★移植の翌日または翌々日に移植 【移植】 ・残草状況に応じ、2回目から10日以内に3回目実施 ★2回目機械除草（植代後10日以内） ★深水管理（移植直後5cm、生育に合わせ10～15cm） ★移植直後に米ぬかを60kg～100kg/10a散布 【雑草管理】	・中干し終了後は通常の水管理 ★溝切り・中干しは茎数300本/㎡を目安に実施 【溝切り・中干し】	・窒素成分1～2kg/10aの追肥を行う ・穂肥2回目以降の葉色が淡ければ、出穂4日前までに ★幼穂形成期1週間前と、1回目の2週間後の2回施用 ★窒素成分6kg/10aを基準に施肥 【穂肥施用】	★畦畔草刈り（出穂2～3週間前） → ★畦畔草刈り（出穂期） 【カメムシ防除のための畦畔2回連続草刈り】	★刈取予定日の5日前まで間断かんがいを実施 【登熟後半の水管理】	・刈り遅れると胴割れや茶米が増加するので注意 ★籾黄化率85%～90%が刈取適期 【適期収穫】	★色彩選別機を活用し斑点米を除去 ★1.85mm以上の網目で選別 ・適正な乾燥速度で胴割れと過乾燥を防止 ・乾燥時の仕上げ水分は14～5% 【乾燥調整】	・病害虫発生抑制のため、収穫後早期に秋耕を実施 ・稲わら腐熟促進、多年生雑草の抑草および土づくりの徹底	

<収穫・乾燥・調製>

- ・籾黄化率85~90%が刈取適期
- ・乾燥時の仕上げ水分は14.5%
- ・1.85mm以上の網目で選別

○特性概要

項目	きらみずき
幼穂形成期	7月24日
出穂期	8月14日
成熟期	9月21日
稈長	74cm
穂数(/㎡)	315本

R4~R6年の平均値
(5月下旬・中苗移植、農技センター内)

